

かん せん せい かん せつ えん
乾癬性関節炎
(関節症性乾癬)
について

監修

名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 教授

森田 明理 先生

医療機関名

maruho マルホ株式会社

ノバルティス ファーマ株式会社

CTX00049GG0004
2018年1月作成
2021年11月改訂
A0222EX-MDS



乾癬性関節炎(関節症性乾癬)を知っていますか？

▶ 乾癬患者さんの6~42%^{*}に発症する
炎症性の関節炎です。

- 手先や足先に近い関節に腫れや変形、
痛みなどの炎症性の症状が多くみられます。
脊椎や腱・靱帯に発症することもあります。



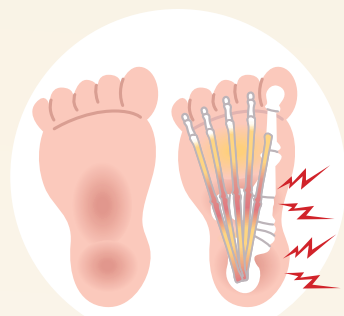
乾癬性関節炎(「関節症性乾癬」とも言います。本冊子では以降、「乾癬性関節炎」と記載します。)で多い例は、手足の指の腫れや痛みですが、全身の関節にも炎症、こわばり、変形などが生じる例もあります。

関節リウマチと症状が似ていますが、違う病気です。手指や足趾の関節の腫れや痛みだけでなく、脊椎や腱・靱帯に病変が起こることがあります。多くの症例では、関節の炎症は左右対称でなく、障害の起こる関節も少ないのが特徴ですが、関節リウマチと非常に似ていたり、関節リウマチと合併して起こることもあります。

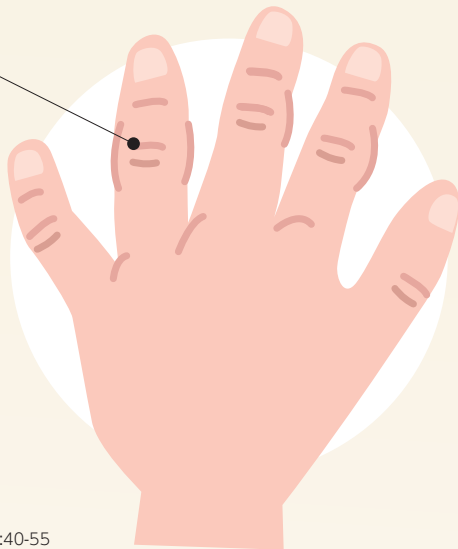
乾癬性関節炎の症状は、早期から関節の破壊を生じる例もあり、急速に進行する場合もあります。関節が変形すると元に戻らなくなってしまうため、関節炎に有効な治療を早期から行い、機能障害を起こさず、日常生活のQOL(生活の質)を保つことが重要です。

■ 乾癬性関節炎の症状

関節の腫れ、変形、痛みなど



足底腱膜炎



^{*} Dafna D. Gladman Dermatologic Therapy 2009;22:40-55

乾癬と乾癬性関節炎

▶ 多くは乾癬の皮膚症状に続いて発症しますが、
皮膚症状がみられず関節炎だけ発症する
患者さんもあります。



- 隠れた場所の皮膚症状や爪の変化など、
ポイントとなる症状に注意しましょう。

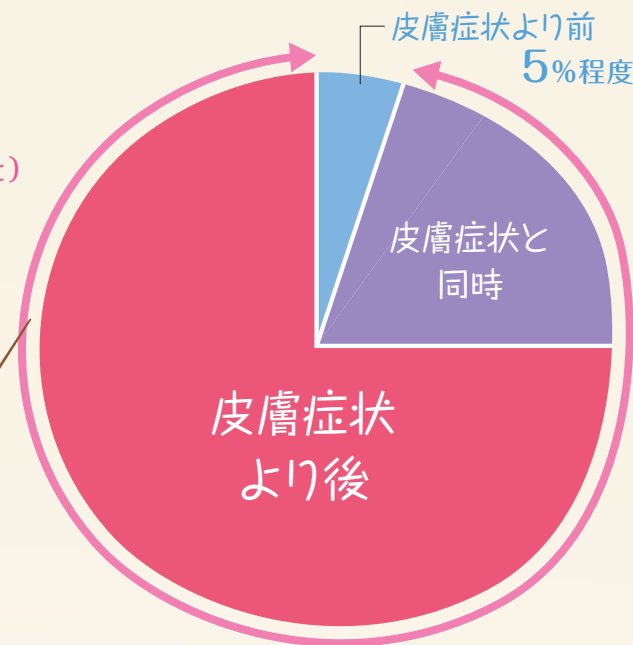


乾癬の皮膚症状が見逃されて乾癬性関節炎の診断
がつかないこともあります。気になる症状は必ず
医師に申告しましょう。

爪、頭皮、臀部の症状は乾癬性関節炎を診断する
ための重要な手がかりです。

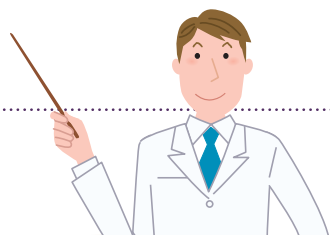
関節症状の発症^{*}

のこり95%は
乾癬の皮膚症状は
(関節症状の発症と)
同時または後に
みられます。



^{*} Toshiyuki Yamamoto et al. Journal of Dermatology 2016;43:1193-1196

症状



▶ 乾癬性関節炎にはいくつかの**重要な特徴**があります。

- ● ● ほとんどのかたに乾癬の皮膚症状がみられます。
- 関節炎の主な症状は、痛み、腫れ、こわばりとして現れる炎症です。この他にも、多くの関連した特徴がみられます。



皮膚炎 (乾癬)

こうはん 紅斑(皮膚が赤くなる)・肥厚(皮膚が盛り上がる)・りんせつ 鱗屑(銀白色のフケのようなもの)がみられます。

関節炎

主に以下の1~5の症状がみられます。

1. 末梢関節炎

- ▶ 手や足の指の指先のほうの関節にもっともよく炎症が起こり、炎症性の症状のほかに乾癬特有の爪症状が現れます。
- ▶ はじめは非対称で、体の両側に同じようには症状が出ませんが、病状が進み、炎症の箇所が増えるにつれて対称的になる傾向があります。
- ▶ 関節の動きが制限されるようになり、炎症を治療せずに放置すればいずれ関節破壊を引き起こします。関節破壊は、可動域(問題なく動く範囲)の減少や関節の変形といったかたちで現れます。



2. 脊椎炎

- ▶ 背部と頸部の関節が侵されることにより、背中や首の痛みを引き起こします。この痛みはこわばりと関係があり、休息後、特に睡眠後に悪化します。
- ▶ 痛みやこわばりは体を動かすことで次第に改善されていきます。
- ▶ ひどくなると脊椎の動きが著しく制限される場合もあり、最終的には、癒合(本来は離れるべきものがくっついてしまうこと)し、固着(くっついたまま定着してしまうこと)のおそれもあります。



3. 指趾(しし)炎

- ▶ 一般的には“ソーセージ指”として知られる、手足の指趾全体の炎症性の腫れです。
- ▶ 持続的に指趾炎が続くと、指趾関節の破壊をきたします。



4. 付着部炎

- ▶ 靱帯や腱が骨に付着する部分の炎症です。痛みや腫れが現れます。
- ▶ 付着部炎になりやすいのは、足底腱膜(足の裏に膜のように張っている腱)とかかとの後ろのアキレス腱の付着部です。
- ▶ そのほか、ひざ、肩、ひじ、股関節の脇などに症状が出ます。

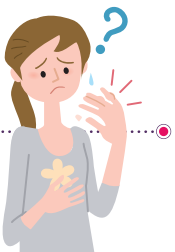


5. 腱炎

- ▶ 腱鞘(腱をパイプのように包んでいる部分)の炎症が起こります。
- ▶ 手の腱が侵され、指を動かすと痛みを生じることがあります。指がこわばったり、バネ指になることもあります。
- ▶ 手首や足首のまわりの腱鞘が侵されることもあり、動かすと痛みが生じます。



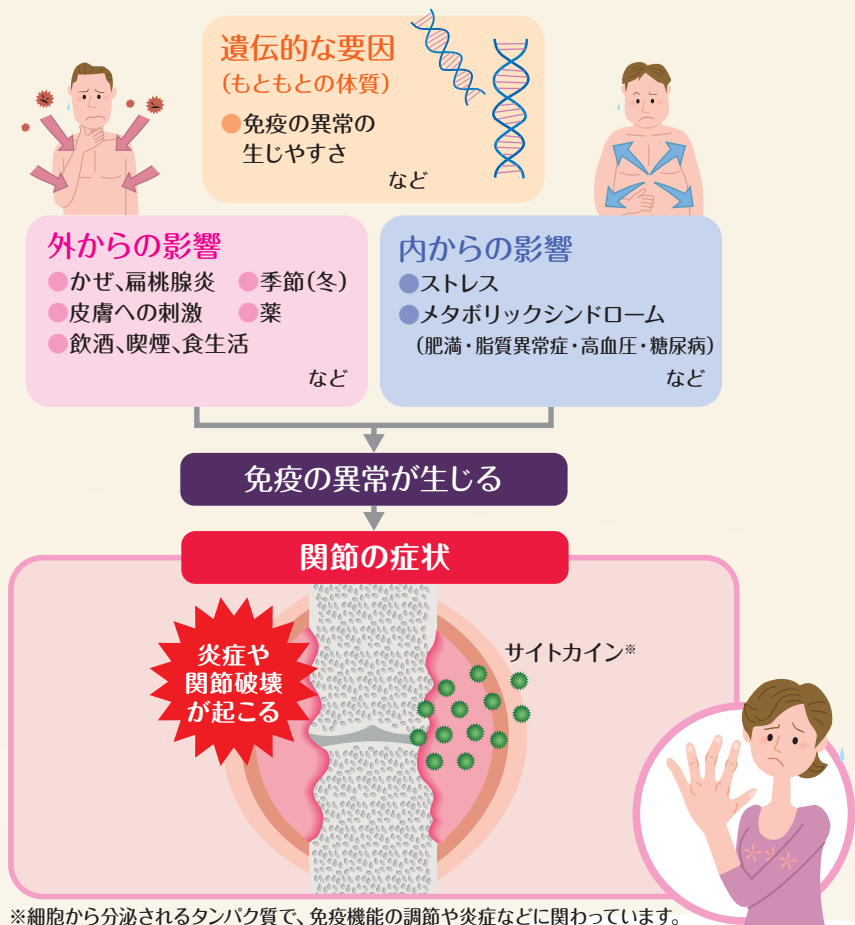
乾癬性関節炎の原因



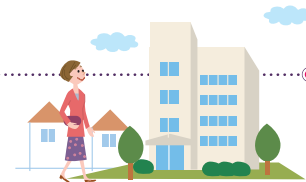
- ▶ 乾癬の発症と同じように
免疫の異常が関係しています。

- ● ● 乾癬性関節炎の原因は、乾癬と同様にはっきりとわかっておらず、乾癬になりやすい体質と、感染症や精神的ストレスなど環境・生活要因が複雑にかかりあって起こると考えられています。

乾癬の皮膚症状がみられず、乾癬性関節炎のみ発症している患者さんは、親族に乾癬の患者さんがいる場合が多いようです。



早期にみつけるには



- ▶ 乾癬性関節炎を早期にみつけだす
質問票があります。

- ● ● 乾癬性関節炎の早期診断、治療がされることで、その後の関節の損傷、変形、障害を防ぐことが期待できます。

◎PASE

(Psoriatic Arthritis Screening and Evaluation: 乾癬性関節炎のスクリーニングと評価)

- ▶ 症状や機能を評価する質問票です。「ペース」とよべます。

A これまでに、リウマチ医によって乾癬性関節炎であると診断されたことがありますか？
はい いいえ

● 症 状 (合計：総症状スコア)

1. 1日中、疲れを感じる。
2. 関節が痛む。
3. 背中が痛む。
4. 関節が腫れてきた。
5. 関節に熱感がある。
6. 時々、手足の全体の指が腫れて、ソーセージ様になっている。
7. 関節の痛みが1つの関節から他の関節に移動するように感じる (例えば、2〜3日、手首の関節に痛みがあったが、その後は膝の関節が痛くなったなど)。



● 日常活動能力 (合計：総機能スコア)

8. 関節の状態が仕事に影響を与えているように感じる。
9. 関節の状態が身の回りの動作に影響を与えている (例えば、洋服の着用や歯磨きなど)。
10. 時計や指輪の装着が困難であった。
11. 車の乗り降りが困難であった。
12. 以前と同じように活動ができない。
13. 起床後、2時間以上、こわばりを感じる。
14. 朝が最も調子の悪い時間帯である。
15. 1日の中で、普通に動けるようになるまで2〜3分かかるときがある。

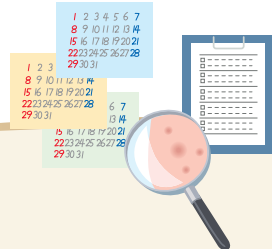
以上の質問について、
全くそう思わない…1点、 そう思わない…2点、 どちらともいえない…3点、
そう思う…4点、 強くそう思う…5点

総症状スコアと総機能スコアの合計が総PASEスコアとなります。

- 総PASEスコアが37点以上の場合、主治医の先生に相談してください。

効果的な治療を行うために

- ▶ 乾癬性関節炎では「疾患活動性」を評価することが非常に重要です。



- ● ● 乾癬性関節炎の「疾患活動性」とは、ひとことでいえば病気の勢いのことで、罹患年数、皮膚症状、関節症状、検査所見によって評価します。

疾患活動性を厳密にコントロールするということは、炎症を抑え関節破壊の進行を抑制することですから、乾癬性関節炎の治療においてはとても重要です。



罹患年数



皮膚症状



関節症状



検査所見(CRP、MMP-3など)

治療目標

- ▶ 治療目標は患者さんのQOL(生活の質)を維持し、皮膚および関節症状を最小限に抑え、**骨破壊の進行を抑える**ことです。



- ● ● 乾癬性関節炎では、こわばりや腫れ、痛み、さらには変形により身体的機能障害が起こり、QOL(Quality Of Life;生活の質)が著しく低下しているといわれています。これらの症状を最小限に抑え、さらに身体機能を低下させる骨の破壊をくいとめることが重要です。



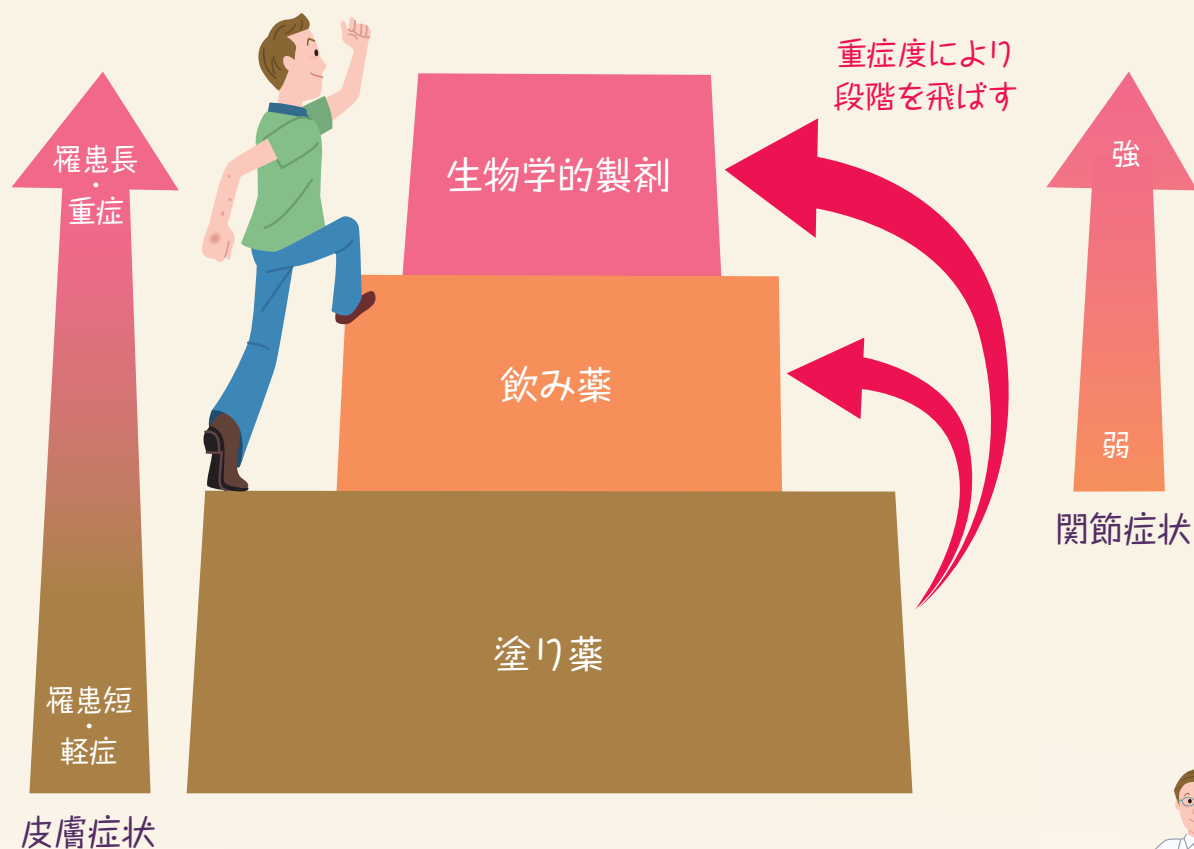
乾癬性関節炎の関節症状は慢性進行型(長期にわたり持続的に悪くなっていく)であり、一つの関節症状から発症しても徐々に多くの関節へと移行し、脊椎炎を伴う例が増加します。早期から骨破壊を生じる例(進行例)もありますので、痛みを減らすだけでなく、骨関節症状に有効な治療を行う必要があります。

治療法(薬物療法)

▶ 段階的な治療選択が推奨されています。

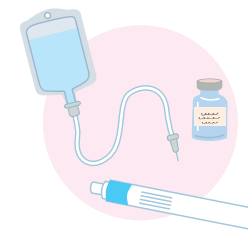


● ● ● あらわれている症状や重症度によって
最適な薬を選択します。



生物学的製剤(注射薬)

乾癬で免疫の異常をもたらしている物質に直接作用し、その物質のはたらきを抑える薬です。
点滴静脈注射のものと皮下注射のものがあります。



飲み薬

ビタミンA誘導体、免疫抑制薬及び炎症の原因となっている酵素を阻害する薬があり、関節の痛みやこわばりを和らげたり、乾癬の皮膚症状を抑えたりするために使用されます。



塗り薬

ステロイド外用薬と活性型ビタミンD₃外用薬、及びそれらの配合薬があり、乾癬の皮膚症状を抑えるために使用されます。皮膚症状のある部位に適した剤型(軟膏・クリーム等)が選択されます。



このように乾癬性関節炎の治療には、皮膚や関節の症状や重症度によって、最適な治療薬が選択されます。
もし、気になる症状がありましたら、お近くの医療機関にてご相談ください。



日常生活で気をつけたいこと

▶ 乾癬の症状を悪化させないために
気をつけること。

乾癬の症状の悪化には、日常生活の習慣が深くかかわっていることがわかっています。治療とともに、悪化させる原因をできるだけさける生活を心がけることも大切です。

皮膚への刺激をさける

皮膚に刺激が加わらないように、
普段の服装や入浴時には注意しましょう。



バランスのよい食事

肥満などのメタボリック・シンドロームをさけるために、
脂っこいものや肉類をひかえ、
野菜や魚中心のバランスのよい食事を心がけましょう。



感染症に注意する

かぜなどの感染症にかからないように、
日ごろから体調管理に気を配りましょう。



ストレスをうまく発散させる

自分なりのストレス発散法を見つけてできるだけ
心をリラックスさせ、睡眠も十分にとるようにしましょう。
適度な運動をしましょう。

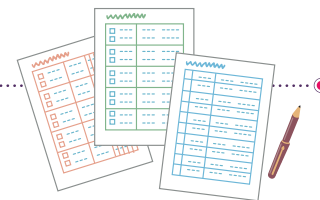


乾癬の治療は続けることが大切なので、医療機関を受診する日
を忘れないようにしましょう。その他、気になることがありまし
たら、主治医または看護師、薬剤師にご相談ください。



評価方法

▶ 乾癬性関節炎の臨床評価には
さまざまな方法があります。



- ● ● 関節症状に対する疾患活動性評価として、ACRコアセット、DASスコア、
身体機能障害度の評価としてHAQ身体機能障害指数、
体軸関節炎の疾患活動性評価としてBASDAIが使用されています。

もっとも一般的に使われているのは、リウマチの評価方法であるACRコアセットと、
治療法選択の基準を与えるDAS(Disease Activity Score)です。

● ACRコアセット

(American College of Rheumatology: アメリカリウマチ学会コアセット)

▶ 関節症状の疾患活動性を評価する方法です。

例) ACR20改善 ▶ 治療前から
20%以上改善したということ。

ACR改善基準は治療開始時との相対的な比較で
あるので、個々の患者さんの治療効果を評価する
指標としては必ずしも適切であるとは限りません
(治験時に用いられます)。



● DASスコア

(Disease Activity Score: 疾患活動性スコア)

▶ 疾患活動性を評価する方法です。



● HAQ身体機能障害指数

▶ 身体的な機能障害の程度を評価する方法です。

▶ 日本の生活習慣に合わせて改良し、関節リウマチ患者さんで
有用性が検証されたものをJ-HAQといいます。
ただし乾癬性関節炎患者さんに応用可能かは確認されていません。

質問票による評価：J-HAQ身体機能障害指数

質問内容 この1週間の日常生活で、それぞれの質問に当てはまるところに1つだけ、○をつけてください。

	なんの困難 もなくて (0点)	少し困難 だが (1点)	かなり困難 だが (2点)	まったく でき (3点)
① 衣服の着脱と身支度 (Dressing)				
靴ひもを結び、ボタン掛けも含め自分で身支度ができますか?				
自分で洗髪ができますか?				
② 起立 (Arising)				
椅子(肘かけがなく背もたれが垂直)から立ち上がれますか?				
ベッドまたは布団からの就寝、起床の動作ができますか? (日常使っている寝具につきお答えください)				
③ 食事 (Eating)				
お箸を使ってごはんを口に運べますか?				
いっぱい水の入ったコップを口元まで運べますか?				
新しい牛乳の紙パックの口を開けることができますか?				
④ 歩行 (Walking)				
戸外の平坦な道を歩けますか?				
階段を5段上がれますか?				
上記の1～4の動作の手助けとなるような器具や自助具を日常的に使っていたら、 あてはまるものにいくつでも○を付けてください。	1. 身支度に使う器具 (ボタン通し、ジッパーにかけられるひもなど) 2. 特殊な椅子 3. 特別な器具、自助具 4. ステッキ 5. 松葉杖 6. 歩行器 7. 車いす			
上記の1～4の動作をするのに他人の手助けが必要であれば、 あてはまるものにいくつでも○を付けてください。	1. 衣服の着脱と身支度 2. 起立 3. 食事 4. 歩行			

	なんの困難 もなくて (0点)	少し困難 だが (1点)	かなり困難 だが (2点)	まったく でき (3点)
⑤ 衛生 (Hygiene)				
浴槽につかることができますか?				
体を洗いタオルで拭くことができますか?				
洋式トイレに座ったり立ったりできますか?				
⑥ とどく範囲 (Reach)				
頭上の棚に2リットル入りのペットボトルがあった場合、 それを下に降ろせますか?				
腰を曲げて床にある衣服を拾い上げられますか?				
⑦ 握力 (Grip)				
自動車のドアを開けられますか?				
広口ピンのふたを開けられますか?(すでに一度開けてあるもの)				
回転式の蛇口を開閉できますか?				
⑧ 家事や雑用 (Activities)				
用事や買い物にでかけることができますか?				
自動車の乗り降りができますか?				
そうじ機をかけたり、庭仕事などの家事ができますか?				
上記の5～8の動作の手助けとなるような器具や自助具を日常的に使っていたら、 あてはまるものにいくつでも○を付けてください。	1. 浴槽のいす 2. 浴槽の手すり 3. 便座を高くした 4. トイレ内の手すり 5. 孫の手状の継ぎ手(マジックハンド) 6. ピンの口を開ける器具			
上記の5～8の動作をするのに他人の手助けが必要であれば、 あてはまるものにいくつでも○を付けてください。	1. 衛生 2. とどく範囲 3. 握力 4. 家事や雑用			

Matsuda Y, et al. : Arthritis Rheum. 49(6) : 784-788, 2003

▶ **患者さん自身が身体的な機能に関する質問に答え日常生活における身体的な制限と支援の必要性を評価します。定期的に評価することが重要です。**

右記の計算方法からJ-HAQスコアを算出して、現在の身体的な制限などを評価します。

J-HAQスコア=
$$\frac{\text{①～⑧の各カテゴリーの中の最高点の合計}}{\text{回答したカテゴリーの数}}$$

- 1～8の各カテゴリーの中で最高点を採用し、その平均値をJ-HAQスコアとします。自助具や他人の手助けなどが必要だった場合、各カテゴリーの最高点が2点未満の場合はスコアを2点とします。
- 個々の質問内容で、日常生活でのさまざまな場面で何が困難となるかがわかり、自助具の使用など必要な対策をとることができます。
- J-HAQは関節リウマチ患者さんを対象に検証されたものであり、乾癬性関節炎患者さんに応用可能かは確認されていません。

◎ 17ページの記入表にスコアを記入しましょう。

質問票によるスクリーニングと評価：PASE

▶ 乾癬性関節炎を見つけ出すため、また症状をより詳しく理解するための 評価です。

質問内容 それぞれの質問に当てはまる場所に1つだけ、○をつけてください。

A	これまでに、リウマチ医によって乾癬性関節炎であると診断されたことがありますか？	はい	いいえ
----------	---	----	-----

※乾癬性関節炎を見つけ出すための質問です。2回目以降は、この質問に答える必要はありません。

症状に関する質問	全く そう思わない (1点)	そう思わない (2点)	どちらとも いえない (3点)	そう思う (4点)	強くそう思う (5点)
1. 1日中、疲れを感じる。					
2. 関節が痛む。					
3. 背中が痛む。					
4. 関節が腫れてきた。					
5. 関節に熱感がある。					
6. 時々、手足の全体の指が腫れて、ソーセージ様になっている。					
7. 関節の痛みが1つの関節から他の関節に移動するようになる(例えば、2〜3日、手首の関節に痛みがあったが、その後は膝の関節が痛くなったなど)。					
症状スコアの合計 (総症状スコア)	点				

日常活動能力に関する質問	全く そう思わない (1点)	そう思わない (2点)	どちらとも いえない (3点)	そう思う (4点)	強くそう思う (5点)
8. 関節の状態が仕事に影響を与えているように感じる。					
9. 関節の状態が身の回りの動作に影響を与えている(例えば、洋服の着用や歯磨きなど)。					
10. 時計や指輪の装着が困難であった。					
11. 車の乗り降りが困難であった。					
12. 以前と同じように活動ができない。					
13. 起床後、2時間以上、こわばりを感じる。					
14. 朝が最も調子の悪い時間帯である。					
15. 1日の中で、普通に動けるようになるまで2〜3分かかるときがある。					
日常活動能力スコアの合計 (総機能スコア)	点				

総症状スコア	+	総機能スコア	▶	総PASEスコア	点
--------	---	--------	---	----------	---

Dominguez PL, et al. : Arch Dermatol Res. 301(8) : 573-579, 2009

● 総PASEスコアが37点以上の場合、主治医の先生に相談してください。

◎ 18ページの記入表にスコアを記入しましょう。

J-HAQ身体機能障害指数 記入表

(P13~14)



_____に1度を目安に定期的に評価しましょう。
結果は主治医の先生にお見せください。

記入例

1	2	3	4
1月15日	2月14日	3月15日	4月16日
1.0	1.125	1.25	1.375
点	点	点	点

1 月 日 点	2 月 日 点	3 月 日 点	4 月 日 点
5 月 日 点	6 月 日 点	7 月 日 点	8 月 日 点
9 月 日 点	10 月 日 点	11 月 日 点	12 月 日 点

PASEスコア 記入表

(P15~16)



_____に1度を目安に定期的に評価しましょう。
結果は主治医の先生にお見せください。

記入例

評価日	1	2	3	4
	1月15日	2月14日	3月15日	4月16日
① 総症状スコア	21 点	20 点	20 点	22 点
② 総機能スコア	24 点	28 点	28 点	30 点
①+② 総PASEスコア	45 点	48 点	48 点	52 点

評価日	1 月 日	2 月 日	3 月 日	4 月 日
① 総症状スコア	点	点	点	点
② 総機能スコア	点	点	点	点
①+② 総PASEスコア	点	点	点	点

評価日	5 月 日	6 月 日	7 月 日	8 月 日
① 総症状スコア	点	点	点	点
② 総機能スコア	点	点	点	点
①+② 総PASEスコア	点	点	点	点

評価日	9 月 日	10 月 日	11 月 日	12 月 日
① 総症状スコア	点	点	点	点
② 総機能スコア	点	点	点	点
①+② 総PASEスコア	点	点	点	点